

# 導入事例 ▶▶ 金城学院大学 様

金城学院大学様では、大学キャンパスの大規模リニューアルとして、3棟の校舎と礼拝堂を新築しました。これに伴い、講義室、実習室などのAVシステムを更新。当社が一連のシステム納入および改善を担当させていただきました。

## 【導入背景】

### 2012年より、 金城学院マスタープラン「KMP21」が始動。

これまで校舎が敷地内に点在していた金城学院大学様。各校舎のAVシステム更新は、その校舎ごとに行われていました。そのため講義室のAV機器を使う際、統一の規格ではないため、スクリーンや映像、音量などの操作が使いづらい状況でした。

そんな状況の中、金城学院大学様では、2012年より金城学院マスタープラン「KMP21」を推進しています。その第一フェーズとして、学院創立125年にあたる2014年、N1棟、N2棟、礼拝堂の3つの建物を新築。礼拝堂を中心に、各棟を配置しました。また各校舎に分散していた講義室や実習室などを、N1棟、N2棟に集約。さらにAVシステムを新規導入するとともに、統一規格にするよう話が進みました。



シンプルなものにした講義室の操作パネル。

### 統一規格のAVシステムにより、操作性が向上。

当社では金城学院大学様のシステムサポートを請け負っていた関係で、「KMP21」におけるAVシステムの導入コンペにお声がけいただき、さまざまご提案をさせていただきました。その一つが、AVシステムにおける操作性の向上です。具体的には、講義室や実習室における(映像や音響操作などの)スイッチのムダをなくし、統一のパネル配列にしたのです。これによりどこの講義室であっても、大学教員が迷わず使えるようにしました。さらにAV機器のシンプル化を図ったことにより、コストダウンも実現できました。



前方に2面のスクリーンを配置した講義室



映像に文字が書き込める電子黒板

### デジタル化をはじめ、最新のAV設備を導入。

もう一点が、講義室や実習室のデジタル化です。映像および音声をデジタル信号で伝送する通信インターフェース・HDMI(High-Definition Multimedia Interface)にも接続できるようご提案。これにより大学教員が個人的に持ち込んだPCも接続が可能となりました。またラーニングコモンズの新設にあたり、タッチペンでの操作や書き込みができる高機能プロジェクターをご提案。インタラクティブな機能により、学生のグループ学習など積極的な利用を促し、主体的に学べる環境づくりに貢献。この他では、演習室には電子黒板、映像スタジオや音楽ホールなどにも最新のAVシステムを納入させていただきました。その後、第二フェーズとして新築されたW3棟。この講義室や実験・実習室にも、上記と同様のAVシステムを納入させていただきました。



- 名称:金城学院大学
- 所在地:名古屋市守山区大森二丁目1723番地
- 学長:奥村隆平
- 学生数:5,305人(2016年5月1日現在)
- 学部 文学部、生活環境学部、国際情報学部、現代文化学部、人間科学部、薬学部
- URL: <http://www.kinjo-u.ac.jp>



新しくなったN1棟の映像スタジオ



ラーニング commons の AV 機器はインタラクティブ機能を強化。

## インタビュー: AVシステムのリニューアルにより、 よりよい学びの環境が整いました。

学生支援部  
部長  
原田 望 様



これからを生きる女性にとって、つねに理想的な学びの環境を提供したい。そんな思いのもと本学では、2012年より金城学院マスタープラン「KMP21」を推進してきました。第一・第二フェーズとも順調に進み、理想的な学習環境が整ったところです。学びの環境という側面からすれば、講義室や実習室などにおけるAVシステムの充実が、必須項目です。それが電子システムさんのおかげで、とてもよい環境になりました。

特に注目したいのが、AVシステムにおける操作性の向上です。これまでの校舎においてはAVシステムの統一化がままならない状態でした。先生方には不便な思いをさせてきました。それが統一規格のスイッチになったことで、先生方が迷わなくなり、授業がスムーズに進むようになりました。さらに「KMP21」の第一フェーズとして、自主的な学習を促すラーニング commons を新設しました。ここでは、一人でもグループでも自分のスタイルに合わせて学習できる3つの空間を設け、電子黒板などのAV設備を整えました。その結果、

学生たちが積極的に活用するという、よろこばしい状況になっています。

先生方がスムーズに使えるだけでなく、学生たちも自主的に学習ができる、当初のイメージ以上に環境が整いました。まさに「KMP21」を推進した意味があると感じています。同時に電子システムさんのご提案を受け入れた結果でもあります。

## 教員と学生にとって、 快適な学びの環境を整えたかった。

必須  
ポイント

- AV設備の操作性の向上
- AV設備のデジタル化

### 成約の決め手

10年ほど前から保守サポートを実施。  
その対応の良さ、さまざまな提案など、数々の実績から  
成約につながった。

お問い合わせ

ICT innovation by  
**Densys**

<http://densys.jp>

電子システム株式会社

東海支社

愛知県名古屋市昭和区御器所3-2-5  
☎052-872-0505

首都圏支社

東京都武蔵野市中町1-4-4 スクウェア三鷹3F  
☎0422-60-5155